

平成28年度議会懇談会における質問、意見、要望等に対する回答

大分類	中分類	質問・意見・要望等	回 答 (対 応)
環境	1 ごみ	ごみ処理施設について説明してほしい	新施設については現在敷地造成が完了し12月より建設がスタートし完成は平成31年3月の予定です。その後試行運転が開始され、同年7月から契約業者が運営をします。新たな施設が完成し運営が変わると、今までは各地区の最終処分場に持ち込んでいた不燃ごみや資源ごみも一旦新施設に持ち込むなど方法も変更があります。
環境	1 ごみ	ごみの減量化の取り組みは	減量化の目標は40%削減です。現在約6.5%の達成。可燃ごみの約半分は「雑がみ」ということで、コピー用紙、カレンダー、封筒などの紙類は資源ごみとして出していただきたい。また、生ごみの約80%は水分とのことでしっかりと水切りをお願いしたい。これらがしっかりと取り組まれれば目標達成は可能とのこと。
環境	1 ごみ	ごみ処理機やコンポストの情報発信を議員も進んでやるべきでは	議員も良いことはどんどん情報の発信をしていきます。
環境	1 ごみ	ごみの有料化について	減量化の目標40%が今年度中に達成できなければ実施されます。現時点で詳細は決まっていますが、当初の予定ではごみ袋1枚に45円の負担をいただくことになっております。有料化には賛否様々な意見がありますが、まずは本年度の減量化の目標達成に向けて取り組んでいただきたい。所管の委員会において皆様のご意見は伝えておきます。
環境	1 ごみ	最終処分場への持ち込みごみについて	家庭ごみであっても、産廃ゴミとみなされると受け付けていただけないという話は聞いております。細かく分解するなど処分の方法も確認していただきたい。担当課には解決策の提供も含め伝えておきます。

平成28年度議会懇談会における質問、意見、要望等に対する回答

環境	2 環境 保全	空き家対策について	あくまで空き家等は個人所有の財産であり、行政が関与することは慎重にならざるを得ませんが、新たな法律ができ行政の動ける範囲が広がりました。問題解決に向けて、議会ですべき役割は行政と一体になって果たしていきたいと思います。
環境	2 環境 保全	高潮対策や沿線の雑草や雑木整備など	地域の安心安全の確保は行政の果たすべき使命です。しっかりと現状のチェックをして対応していただくよう行政に要望しておきます。また高潮問題は大きな課題であることは認識しておりますが、特効薬的な対処は難しいのが現状です。行政との連携も図り一歩でも改善につながる努力が必要だと感じております。
観光	2 観光 施設	かや山の家について	かや山の家は課題は進入路とお風呂の改善であると認識しているが、この施設を町はどういった位置づけにしているのかの確認も含め町長に地域の声としてお伝えします。
観光	4 移住・ 定住	企業誘致・雇用の創出について	若い方の働く場がないのは町の大きな課題と認識しています。新たな進出企業の話も何件か聞いてはいるが、議会としても新たな雇用の創出に取り組んでまいります。
議会	1 議会・ 議員	予算・決算特別委員会について	現在与謝野町議会では、二つの常任委員会で予算や決算に係る説明を各課より受け本会議で審議する方法をとっています。特別委員会を立ち上げる意味も含め今後の課題として議会でも協議を進めていきたいと考えています。
議会	1 議会・ 議員	質疑について(内容・その後の検証など)	質疑については、「誰にでも理解できる内容で行う」ことを心がけるよう努めることが、議員の使命であると思います。議員の資質向上に努めていきます。また、質疑した答弁についての検証も議員ごとに行ってはいるところですが、大きな問題や課題については議会広報を通してお伝えすることも重要だと感じております。

平成28年度議会懇談会における質問、意見、要望等に対する回答

議会	1 議会・議員	議員の役割について	議員には執行権はありません。しかし、議決権という大きな責務が課せられております。二代表制の一翼を担う者として日々研鑽し役割を果たす責任があると感じております。
議会	3 議会懇談会	議会懇談会について(あり方・内容・必要性・方法など)	議会懇談会は、与謝野町議会基本条例に基づき、原則毎年1回開催させていただいております。町民の方から広くご意見やご提言をいただき議会機能の向上、議員活動の活力ある発展に資する目的があり、参加人数や開催方法、内容や必要性など多くのご意見もいただいておりますが、より一層意味のあるものとして改善も図りながら今後も取り組んでまいりたいと考えております。
議会	4 議会だより	会派について(議会だより41号5ページ)	議長選出後に最大会派が二つに分かれ、残りの役選を各会派代表で相談し本会議で現在の役職を決定しました。しかし結果的には、もともと一つの会派が議長・副議長・監査の三役を独占した形となり、議会ではしこりが残る結果となりました。議会では運営委員会で再度この件を確認し今後活かしていきたいと考えております。
議会	5 議員報酬・定数	議員報酬について(議員報酬・政務活動費など)	現在与謝野町の議員報酬は、議長31万円、副議長28万円、委員長25.5万円、議員25万円です。年間380万円から400万円くらいです(すべて額面)。今何かと話題になっている「政務活動費」については支給されておられません。
議会	6 その他	説明や答弁について	KYTで視聴されている方から、「説明や答弁が長く途中でわからなくなる」「横文字が多く理解しにくい」という声は多く聞いております。行政側にも伝えて改善できることは改善を図りたいと思います。
議会	6 その他	付帯決議について	付帯決議とは、可決された議案(案件内容)に対し、条件を提案して付帯させるものであります。法的な拘束力はありませんが、可決されることによって提案側(行政)の責任は非常に重く、付帯内容を遵守することが課せられます。同時に議会もその検証を行い、事業の進捗を確認することが求められます。

平成28年度議会懇談会における質問、意見、要望等に対する回答

教育	1 教育 施設	加悦中学校のソーラー施設について	学校全体の電気を賄うというよりも非常用に設置するものと理解しております。また発電状況や使用状況などを観察し授業のツールの活用も含めております。
教育	1 教育 施設	学校管理について	敷地内、敷地周辺の管理(清掃や整備)が行き届いていないというご意見は行政側にもお伝えし、地域住民にご迷惑のかからない配慮をお願いしておきます。
教育	3 学校 統合	加悦谷高校について	議会として京都府教育委員会に意見書を提出しました。加悦谷高校は府立高校なので単に存続だけを訴えることは難しいと考えています。地域との関わり、子どもたちや保護者の考え、高校のあり方など議会でも勉強し協議して、果たすべき役割を見出す努力をしていきたいと考えています。
教育	3 学校 統合	小学校の統廃合について	当初は平成34年に町内一斉に旧町ごとに1校計3校にするという方針が出されました。しかし、野田川地区は子どもの減少見込みが鈍化傾向にあることから困難となりました。与謝小学校では平成33年に2名の学年が生じる中で、可能なところから統合していく方針に切り替えられ、来年度より必要な地域から説明と調整に入ると聞いています。しかし、校名や校歌、その後の学校施設活用など不明確な部分は多く、議会でも町民に理解の得られる計画、また将来像が描かれる計画の遂行について取り組む方向です。
教育	3 学校 統合	与謝小学校の今後とスクールバスについて	平成33年に入学予定者が2名となる現状があり、複式学級(1クラスで複数の学年が授業を受ける)になる予定の中で、来年度から保護者や地域に向けての説明や意見聴取がされると聞いております。学校の統廃合は、すべての合意が得られて初めて進められます。説明会等の場に出向いていただき、多くの皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思います。またスクールバス運行については一定の基準はありますが、当町でも運行が必要とされる地域も今後はあると考えます。スクールバス利用による子供の健康問題も含め、議会でもしっかりと協議を進めていきたいと考えております。

平成28年度議会懇談会における質問、意見、要望等に対する回答

教育	4 社会教育	よさの大学、リベラルアーツ、アベリスツイス交流事業について	社会教育の場づくりは町長が力を入れておられる政策の一つです。進めていく事業が町民の方にも「みえる」周知は必要不可欠です。議会の役割として行政に訴えていきます。
教育	6 その他	子どもたちの生活について	元気な挨拶は生活の基本。段々と元気な挨拶ができる子どもは増えていると感じています。地域でも積極的に声をかけていただきたい。また、不登校などの問題は年々減ることはない状況と認識しています。学校をはじめ専門機関との連携も図り、議会としての役割を果たしたいと考えています。
行財政	1 財政	町の財政について	町の一般会計は町税が約17億7千万円、国の地方交付税をはじめとする交付金が約80億円、あとは寄付金や基金(預金)の繰り入れ、町債(借金)の約25億円で運営しております(平成28年度当初予算)。厳しい財政状況の中、公共施設の見直しや事業や政策のスリム化、経費削減など、また公共料金や社会福祉負担の見直しも含め、財政健全化への取り組みは必要不可欠です。その中で議会の果たすべき役割は非常に大きく、課せられた責務をしっかりと果たすために更なる努力をしなければならないと考えております。
行財政	4 庁舎問題	庁舎問題について(総合庁舎化の取り組み)	町長は、「将来的には町の中心に総合庁舎の建設をしたい」との意向を示し基金の積み立てを開始されております。今後は総合庁舎化に向けた意見聴取をされる予定と聞いておりますが、先行きの不透明感は否めません。新たな庁舎を建設するのであれば、時期や財源をはじめ中身を十分に精査し協議することが議会の役割だと感じております。
行財政	6 その他	総合計画について	第2次総合計画の策定に向けて現在進められております。今回はコンサルタントは使わず、若手職員が中心にワーキングがされ将来を見据えた(フューチャーデザイン)総合計画が作られる予定です。多くの町民の声が反映されるものと聞いておりますが、議会でもしっかりと検証していきたいと考えております。

平成28年度議会懇談会における質問、意見、要望等に対する回答

行財政	6 その他	ふるさと納税について	新たな取り組みも進められて多くのふるさと納税をいただいております。貴重な財源確保にもつながるように、方向性や中身の見直しも含め調査研究をして提言していきたいと考えております。PRIについては担当課に、より一層の努力の要請します。
建設	1 道路	自転車道の照明について	1年に約500mくらいのペースで進めていただいております。与謝野駅からの延伸が来年度中には加悦谷高校まで完成予定と聞いております。その後堂谷橋から石田橋を実施し、加悦谷高校から加悦方面の延伸はそれ以降ということですが、京都府には担当課を通して再度早期全線完成を訴えておきたいと考えております。
建設	5 その他	河川整備について(橋の老朽化も含む)	河川の堤防やそこに架かる橋の老朽化など、危険な箇所は多く、また有害獣の住処になっている箇所も認識しております。現状の確認を再度行い安心安全の確保のためにも町担当課と一緒に京都府に訴えていきたいと考えております。
建設	5 その他	阿蘇シーサイド公園について	阿蘇シーサイドパークは都市公園法に基づき管理運営がされておりますが、キャンプ場使用については法律違反との指摘をいただきました。町長の特認事項とのことでキャンプ使用が始まっておりますが、所管委員会で十分に説明を受け協議したいと考えております。
公共交通	1 バス	ひまわりバス運行について(存続要望)	交通手段の確保が困難な地域の方には必要不可欠であると認識はしております。運行方法やダイヤ設定など見直しや改善を図ることで、一人でも多くの町民の方が利用できる仕組みづくりが求められていると認識しております。
上下水道	1 水道	水道水について	「水道水が美味しくなくなった」「カルキ臭がひどい」などのご意見をよくお聞きいたしますが、安定した供給ができるための水源確保のために表流水から地下水への移行もあり仕方のない理由もあります。水道課では少しでも上質な水の供給に向け日々頑張っておりますが、更なる努力のお願いはしております。

平成28年度議会懇談会における質問、意見、要望等に対する回答

上下水道	2 下水道	与謝地区の下水道普及について	合併浄化槽よりも下水道の方が環境にもより有効であると認識しております。議会としましては対応と要望の強化をし担当課へのお願いをしておきます。
商工業	5 ブランド戦略	シルクプロジェクトについて	国1/2補助を受け、桑の葉栽培と養蚕をすとの説明を受けております。織物だけでなく医療分野や食品などにも可能性があるとのことですが、詳細については決まっていないこともあり今後説明があると思いますが(付帯決議を可決)、所管の委員会を中心に議会でも十分にチェックする必要があると感じております。
商工業	5 ブランド戦略	阿蘇ベイエリアプロジェクトについて	阿蘇ベイエリアを海の玄関と位置付け、空き家を活用した事業や阿蘇海周辺でのレクリエーション、新たな起業の創出など多くのプログラムの中で進められております。周辺地域の方からも「何をしているのか全く分からない」などのご意見も多く、町が目指す「みえるまち」を実現させるには、町民から理解の得られる情報発信をして取り組まなければならないと感じております。シルクプロジェクト同様に所管の委員会を中心に議会でも十分にチェックする必要があると感じております。
商工業	5 ブランド戦略	ホップ栽培事業について	ブランド戦略事業ですが農業施策の一環として、平成27年度から3年計画で試験栽培が進められております。2年目の本年度は収穫も初年度の約倍近い180キロあったと聞いております。全国からも色々な形での問い合わせもあると聞いておりますが、高額な初期投資、高所収穫、採算性など課題は多く、現実性があるかどうかという検証はしっかりとしていく必要があると感じております。
商工業	6 その他	働く場の確保について	高齢化が進み、若い世代がもっと町に残っていただきたいという思いは、多くの町民が望んでいることです。新たな産業創出はなかなか難しい課題ではありますが、魅力あるまちづくりを目指すことが第一歩と考えております。議会の責務の中で精一杯取り組みたいと感じております。

平成28年度議会懇談会における質問、意見、要望等に対する回答

情報化	1 CATV	番組制作について	「祭りや地域行事をしているが、うちの地域はなかなか番組で取り上げてくれない」というご意見をいただきました。KYTでは限られた人数で各地区に出向いて番組制作に頑張っていたいただいているところですが、担当課にはご意見としてお伝えいたします。また町民の皆様には、自主制作番組や持ち込み映像などのご協力もお願いしたいと思えます。
地域コミュニティ	2 公民館整備	公民館の建て替えについて	地元負担は合併後ルール通りに行ってきました。これからもそのルールに変更はないと理解しております。
地域コミュニティ	3 自治区・自治会	区・区長・区役員について	「区や区長、区役員の仕事が多すぎる」というご意見は多くいただいております。大変ご苦勞をおかけしていると感じております。しかし区にしかわからないことや区でないとできないことも多くあるのではないかと感じております。行政としっかりと話し合いをしていただき、改善がされることを望みます。
地域コミュニティ	3 自治区・自治会	過疎化について	大変難しい問題ではありますが、色々な方面から少しでも対策につながることはないか、議会でも勉強したいと感じております。
地域コミュニティ	3 自治区・自治会	民生委員について	民生委員の推薦は各区にお願いしております。なかなか引き受けていただかずお困りの区長も多いと認識しております。民生委員が欠員になると、一番困るのは独居老人や障害のある方をはじめ地域の皆さんです。行政にも現状はお伝えいたしますが、今後もご尽力をお願いいたします。
地域コミュニティ	4 その他	母子家庭・父子家庭について	母子家庭は父子家庭より地域のことで学校のことでも(隣組長や役員などの免除)優遇されている」というご意見ですが、最近あまり格差がないと認識しておりました。事情については様々ですので、地区や地域、学校でも相談をしていただき解決されることが望まれると思えます。

平成28年度議会懇談会における質問、意見、要望等に対する回答

地域コミュニティ	4 その他	空き家活用に対する支援や補助について	現在与謝野町では、空き家利活用の勉強会や空き家バンク登録事業などがありますが、直接の支援や補助の制度は現在ありません。京都府の指定を受けられた地区には一定の補助金制度もありますが、空き家問題は地域にとって重大な問題になっています。対策に向けての研究も必要であると認識しております。
地域防犯	1 地域防犯	事件発生時の対応について	「町民に危害が及ぶような何らかの事件が発生した場合、議会としてはどう対応するのか」というご意見ですが、事件の内容によっては警察からの情報も得られないこともあります。また、刑事事件においては行政も踏み込まず対策本部を置くことも困難であると思います。いただける情報は可能な範囲で町民にお伝えできる連絡体制の構築は必要ではないかと考えております。
農林	1 農業	豆っこ米について	京の豆っこ米は、有機質肥料「京の豆っこ」を使って栽培された与謝野町産丹後コシヒカリのブランド米です。京の豆っこ米を含む丹後コシヒカリは、米の食味ランキングでも最高ランクの特Aを通算10回獲得するなど、認知度を高め、販路開拓に努力され、直売されている農家もあります。また、農協でも「京の豆っこ米生産部会」があり、販売されています。
農林	1 農業	有害鳥獣対策について	防護フェンスの設置が各地区の協力により広範囲に広がったおかげで、設置していただいた地区では被害もかなり減少したと理解しております。しかし、未設置の地区の事情や補修など維持管理にかかる費用についてなど課題も新たに生じております。また道路で自動車にはねられた死骸の処理についても対応は自治体によってさまざまであり、担当課には対応の強化を要望いたします。
農林	3 その他	Xキャンプについて	本年古民家の拠点が完成しました。地域の方とのふれあいや農業を通して、与謝野町を第2のふるさとと感じていただけるような事業であってほしいと感じております。

平成28年度議会懇談会における質問、意見、要望等に対する回答

農林	3 その他	加悦ファーマーズライスについて	第17期平成28年5月決算では、売上額約5億5千万円と順調に伸びていて利益も上がってきており、債務超過の域は脱したと理解しております。工場の増築の話も聞いておりますが、指定管理施設ではあるが利益が出ている現状で、町がどこまで関与するかについては、議会でもしっかりと確認をして協議を進めていきたいと考えております。
農林	3 その他	豆っこ肥料施設について	施設で発生する臭いが、天候や風向きによって地域の方にご迷惑をお掛けしているとお聞きしております。改修することで問題は解決できるのか、また対応策についての確認を担当課にさせていただきます。
福祉	1 子育て	子育て応援課について	就学前の乳幼児の養育支援や教育、保育に係る事務を一元的に担当しています。具体的には、認定こども園、保育所(園)、幼稚園の運営や児童虐待防止・DV対応、妊婦健康診査、母子・父子福祉などの事務があります。
福祉	1 子育て	保育料の無料化について	町長が「保育料の無料化」についての考えを述べられたこともあったが、大変厳しい財政状況の中で難しいと理解しております。認定こども園がスタートした本年度から、利用料金や保育時間の改善が実施され減額についてはできていると認識しております。
福祉	1 子育て	認定こども園について(今後の予定)	現在岩滝地区に建設が進められております。完成は来年5月の予定です。町では今後加悦地区と野田川地区に建設する計画ですが、詳細については決まっておりません。
福祉	1 子育て	認定こども園について(メリット)	就学前教育と保育が一体的に受けることができ、適切な規模の子ども集団の中で、子どもたちのすこやかな育ちの支援・サポートが受けられるといったメリットがあります。

平成28年度議会懇談会における質問、意見、要望等に対する回答

福祉	1 子育て	認定こども園について(民営化)	乳幼児教育・保育を民営化してもその質は後退することはないと考えていますが、今後も国の子育て支援策等の動向に注視しながら、議会内でも議論を深めていきます。
福祉	1 子育て	保育所(園)の0歳児の受け入れについて	一部の保育所(園)で0歳児(10か月乳児)の受け入れが開始されましたが、1歳児からの受け入れしかできない保育所もあります。一旦0歳児の受け入れのできる保育所に入所されると、転所する場合4月1日時点で満1歳になっていないと転所できないルールになっております。より良い子育てが応援できる体制を目指すためにも、改善を訴えてまいりたいと考えております。
福祉	2 高齢者福祉	福祉を支える人づくりについて	福祉に関わる仕事をされている方も高齢化しております。また資格を有するためには多額の費用や長期の研修が必要です。町では介護福祉士の資格取得に新たな助成制度ができました。
防災	1 消防	議会と消防委員との懇談会について	総務文教厚生常任委員会が所管しております。内容については「団員確保」「新しい分団編成」「消防機材」などのご意見をいただき、有意義な意見交換をさせていただきました。
防災	4 その他	原発問題について	議員一人ひとりが調査研究や勉強をして、それぞれの考えを持つことが大切であると感じております。